

季節ごとの行事一覧

3月 通りに春の花を配置
3月または4月 花見兼避難訓練
5月 定期総会および懇親会

6月 通りに夏の花を配置
7月～8月 ラジオ体操会（地区行事に協賛）
8月 納涼子ども祭り

10月 通りに秋の花を配置
10月または11月 防災訓練
11月 懇親バス旅行

12月 通りに冬の花を配置
12月 災害時炊出し訓練兼年末餅つき大会
12月 年末防火・防犯夜回り
1月 新年会

通年実施する事業

- ・資源回収（毎月一回、指定日）
- ・家庭ごみ収集場所の環境維持（常時）
- ・中町公園の環境維持

慶祝制度

- 4月 新入学児童のお祝い
（小学校入学時にお祝いを贈呈）
- 9月 敬老の日のお祝い
（70歳以上の会員にお祝いを贈呈）
- 1月 20歳のお祝い
（成人の日に年内に20歳を迎える方に
お祝いを贈呈）

中町町会に参加して、
一緒に「ふるさと中町」を
創りませんか？

入会資格

町内にお住いの所帯または町内に事業所をお持ちの法人なら、どなたでも（いわゆる反社会的勢力の方を除いて）入会できます。

会費

月額 250 円 年額 3,000 円

入会後は4月～6月に班長さんが、年額を一括して集金します

上記の集金期間中に町会の口座に振り込むことができます（手数料は負担願います）。口座振り込みをご利用された場合は、その旨を班長さんにお伝えください。

入会手続き

添付の入会申込書に氏名等をご記入の上、会長宅または新宿区筆筒町特別出張所（新宿区筆筒町15番地、☎03-3260-1911）までお持ちください。

お申込みいただくと、会則、最新の総会資料、役員一覧をお持ちして役員がご挨拶に伺いますので、その時に会費を申し受けます（年度途中で入会の場合、会費は月当たり250円の月割りです）

右二次元コードから新宿区の電子申請サービスを利用して入会手続きができます。



お問い合わせ先

町会広報誌「中町パレット」編集部
nakamachi.palet@gmail.com

編集・発行

中町町会 / 新宿区地域振興部 地域コミュニティ課

ふるさとにしたい町

中町

ごあいさつ

当町会は1973年に発足、2024年には50周年行事を挙行し、記念品を配布して、町会員一同がその歴史を噛みしめました。引き続き、当町会は会員の要望に沿って、時代の要請を取り入れた活動に取り組んでいきます。

当町会の活動が目指すところは、「中町に住んでいる」という誇りが高まることです。中町の活動が、豊かで継続していくことが要点になります。

平常時には親睦を深め、中町という地域コミュニティの充実を図ります。また万が一の災害時には、近隣町会や筆筒町町会連合会、愛日小学校避難所運営協議会や筆筒町特別出張所など行政との連携が円滑に進むよう、常日頃から意思疎通に努めて町会員の安全・安心に備えています。

当町会の活動には三本の柱があります。

- (1) 活発な親睦交流により顔なじみになり、まとまりのある町会を作ります。
- (2) 日常から良き雰囲気を醸成し、防犯・防火・防災への意識を高めます。
- (3) 「ふるさと中町」になるような中町町会の活動を目指します。

「ふるさと中町」を目指して、一緒に町会の運営にあたり、すばらしい中町を創り上げていきましょう。

中町の由来と歴史

中町は、江戸時代の初期から牛込御徒組と呼ばれた武家地の一部で、中御徒町と呼ばれていました。中町の北側が北御徒町、南側が南御徒町でした。明治以降の町名では、それぞれ北町・中町・南町になりました。

この三つの町は道路が町の境界線ではなく、一本の道路を挟んで向かい合った土地が同じ町になっている「両側町」です。道は東西に走り、かつては両側に15軒ずつ、合計30軒の組屋敷が並んでいました。1軒の土地の面積は200坪前後になります。また、この一本道の両端には、木戸が設けられていました。

江戸中期の有名な太田南畝は、中町36番地付近に住んでいたと推定されています。最初は、洒落と滑稽そして反骨のある江戸狂歌の作者として名を馳せました。その後、寛政の改革の綱紀肅正に合わせて狂歌と絶縁し、江戸幕府の人材登用試験に首席合格して、大坂の支配勘定へと昇進しました。

現在にいたるまで、洒落あり勉強あり良きお隣さんの雰囲気が残る町並みが形成されている、歴史と伝統がある町、それが中町です。

地域図



掲示板



一時集合場所



避難所



防火貯水槽



消火器



消火栓



小型消防ポンプ



公衆トイレ



公衆電話



町会防災倉庫



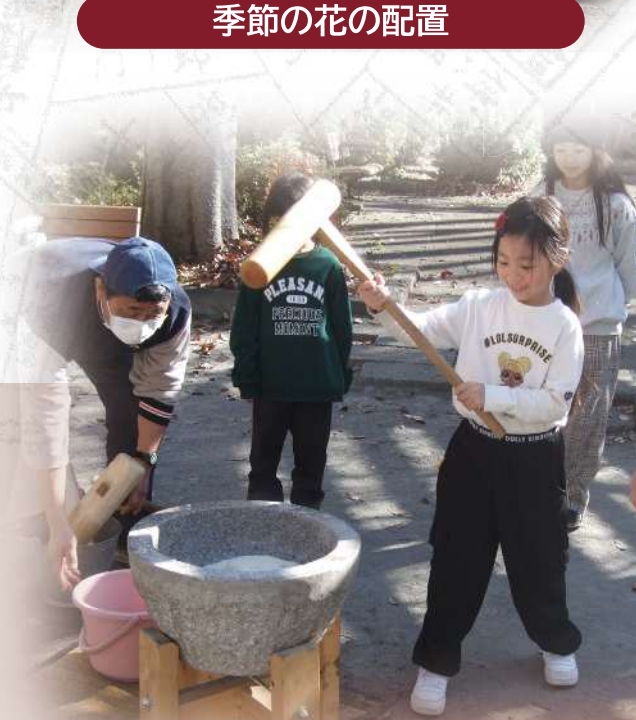
AED



防災訓練



季節の花の配置



餅つき



子ども祭り

